

大田原市立中学校
柔道事故調査報告
書について



印南 典子 議員

質問…この質問をさせて頂く最大の理由は、事故の際に指導、監督責任があった学校関係者に、この報告書に書かれている事実や提言を真摯に受け止め、二度とこのような事故を起こさない為の再発防止の努力を、他の部活動の如何なる目的より最優先に実行して頂きたい。その思いで、再発防止の具体的な対策について伺います。

答弁…4つの具体策を講じています。1、中学生で柔道経験する初心者、5月から8月の大外刈り練習を禁止する。2、初心者大会出場は、9月の那須地区新人大会からとする。3、柔道専門家を派遣し習熟度、練習環境の確認を行う。4、初心者へヘッドギアの装着を義務付ける。

質問…市長からのご答弁をお願い致します。
答弁…今回のような事故が二度と起きてはならない。予防措置や事後策等についても真摯に対応して頂きます。ヒヤリハットのようなちょっとした油断の中から起きてしまう。いかに日頃から気を付けていかなければならないかを発信し、いつでも事故は起きるのだという考えで対処していきたい。

一般質問



秋山 幸子 議員

待機児童について

質問…過去5年間の待機児童の推移について伺います。
答弁…平成25年が11人、平成26年が4人、平成27年がゼロ人、平成28年が6人、平成29年が18人です。また、今年度からは特定の園を希望しているなどの理由で待機児童に含まれない潜在的待機児童の数も合わせて国へ報告していますが、その人数は37人です。

質問…恒常的な保育士不足を解消する為の市の取り組みを伺います。
答弁…保育士不足を解消する為に、臨時保育士の賃金面の処遇改善を行っており、フルタイムの日額賃金を見直し、早番、遅番の賃金上乘せ、パートタイムの時給を増額しました。
質問…保育士の給料の底上げと必要な保育士数を、正規職員で

配置することが出来なければ、保育現場から、保育士が離れてしまいますが、どのように考えていますか。
答弁…確かに正職員として雇うべきとのお話ですが、来年4月、正規の保育士を4人ほど採用する予定です。十分な数ではない状況ではありますが、人員適正化計画にのっとり保育士の補充を進めていく考えです。